

会議結果報告書

1	会議名	第2回戸別収集実験事業意見交換会（松浪地区）
2	日時	令和7年10月5日（日）11:00～12:00
3	場所	兵金山会館
4	出席者	（資源循環課）八幡主任、尾崎主事 （環境事業センター）小田主査 （松浪地区）参加人数：36人
5	内容	<p>資料に基づき、第2回戸別収集実験事業意見交換会を実施した。主な質問と意見は次のとおりであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 収集時間が変更したことに関する意見があったようだが、収集時間の目安を市民に知らせられたら良かったのではないかと。</li> <li>→ 今後、収集時間を変更する際には、事前の周知ができるよう調整する。</li> <li>● 収集時間は、浜竹四丁目だけ変わったか。</li> <li>→ これまでの浜竹四丁目を実施していたステーション収集においては、4台の収集車両を活用し、浜竹三丁目とあわせて朝一番に収集していた。今年の4月からは、浜竹四丁目では2台の収集車両を活用し戸別収集をしており、朝一番に収集しているエリアもあれば、昼前後に収集しているエリア、夕方に収集しているエリアもある。ステーション収集を継続しながら限られた資源の中で、戸別収集を実施するためには、収集時間が変更してしまうことをご理解いただきたい。</li> <li>● 浜竹四丁目は必ず午後収集しているということか。</li> <li>→ 浜竹四丁目の中でも、午前中に収集しているエリアもあれば、午後収集しているエリアもある。</li> <li>● 収集車両は2台で行なっているか。</li> <li>→ そのとおりであるが、1台は終日浜竹四丁目戸別収集をしている車両であるが、もう1台は1稼働目のみを戸別収集しており、2稼働目以降はステーション収集を行なっている。</li> <li>● 4月当初にカラスが多く来ていたのだが、その後カラスが来なくなり、各自がカラス対策を徹底したからではないかと感じている。藤沢市の方に行くと、カラスに荒らされている様子を確認している。各自カラス対策をしっかりされた結果このようになっていると思うため、事例を広報してもよいのではないかと。</li> <li>● 被せるネットを活用してカラス対策をしていたが、カラスに荒らされてしまった。その後、ボックスに変えたら、カラスに荒らされることはなくなった。</li> <li>→ 市の取り組みとしては、4月当初の1,2週間は、排出指導をするための車両を走らせ、カラス対策の甘い住宅に啓発をしたため、それが効果的であったとも考える。</li> </ul>

- 4 月当初にカラス被害に遭っていた住宅の排出状況の特徴としては、「黄色の指定袋だけで排出していたということ」である。黄色の指定袋では、カラス被害の軽減効果はないため、ボックスやカゴに入れて、鳥獣対策をする必要がある。
- ごみの臭いに関して、各自が徹底して口を縛って出したことで、臭いがしなかったのではないかと思う。
- ステーションに赤いカーペットが不法投棄されて、赤い紙が貼られて置いてある。このカーペットは、市が自動で回収してくれるか。  
→ 基本的には、一定期間置かせていただいた後に回収する。
- ステーション収集と戸別収集を選択できるようにしてほしい。
- ステーションに排出された不法投棄された物は、おおよそ 1 週間ぐらいで収集してくれるか。  
→ 腐敗しないようなものであれば、おおよそ 2 週間ぐらいは置かせていただきたい。本来、ごみ処理手数料を支払っていただきごみ処理をしなければならないものをすぐに回収してしまうと、適正にごみ出しをしてくださる方とそうでない方との間に公平性を欠いてしまう。長く置けるのであれば、長く置かせていただきたいというのが本音である。
- ステーションの場所を変えるには、どのようにしたらよいか。  
→ ステーションの維持管理等は、地域の皆さまで行なっていただいているため、地域の皆さまで場所の移動に関する相談をしていただき、その結果を踏まえて、環境事業センター業務担当に相談していただきたい。
- 近隣の方で土地を分けて、ステーションを設置している。若い世帯も多く共働き世帯もいて、朝ポリバケツを出して、夕方までポリバケツが出ている状況である。前回の意見交換会でも意見が出ていたが、戸別収集を実施するには予算が必要であるとのことだったので、ステーション収集と戸別収集のハイブリットで行うことは検討しているか。  
→ 一つの案として、検討している。
- 各自がネットなりカゴなりを購入しているため、それらが無駄にならないように検討していただきたい。
- 藤沢市では多くの品目を戸別収集していると思うが、藤沢市の様子を見てみると、プラごみなどが散乱している様子を確認している。

以上